

としょかんだより

【下條村立図書館 163号 2023年3月15日発行】

令和5年度は、小学校の読み聞かせボランティア団体「のはらうたの会」が活動20周年を迎えます。下條小学校が立ち上げた無償のボランティアの皆さんが、さまざまな紆余曲折を経ながら20年間続けてこられたのは、「子どもに本を楽しんでほしいから」「子どもの笑顔のためにできることを」という思いからです。活動に興味のある方、ぜひ見学にお出かけください。

としょかん大好き家族 大矢さんご一家

PART130 粒三

いつもにこにこ😊おだやかなお母さんの知代(ともよ)さんと、伸び盛りで頼もしい長男の悠晴(ゆうせい)くん(7歳・1年生)。近ごろは、次男の望晴(みはる)くん(1歳)と、3人で図書館へ来てくれるようになりました。

悠晴くんが保育所の未満児クラスにいたころ、ご両親は共働きで、時間に追われる日々でした。そんなとき先生が、「悠くんは、『あっちゃんあがつく』という絵本が大すき。図書館に行くといっぱい絵本がありますよ。1人10冊借りられますよ」と教えてくれて、図書館に来るようになったそうです。「毎日一緒にいられる時間が少なくて、悠晴は本が好きだから、図書館でコミュニケーションの時間がとれたらいいなと思って」。

年長さんになったころ、「どうして雨がふるの?」「カミナリってなに?」など…いろいろ質問するようになったとき、ネット検索で調べてみても子どもには難しい答えばかり。そんなとき、「図書館に行けば子どもにわかるように説明された本や図鑑があるから、いっしょに見て、自分でわかりそうな本を借りてみよう」と来館しました。それからは、さまざまな疑問について調べるために、たくさんの本を借りました。

少し前に、あしたむらんど玄関にある“みんなのおすすめ本コーナー”で、だれかのおすすめメッセージ付き『牛乳のひみつ』(学研まんがでよくわかるシリーズ)を発見! 借りて読んだらとってもおもしろくて、今はこのシリーズをだんだん読み進めています。お母さんが借りた本も、開いてみて読めれば読んでしまう悠晴くん、「本を読んでいろんなことがわかると、母に教えてくれる」そうです。母より先に子育ての本を読み終わり、「○○な声がけがいいんだって!」と教えてくれたそうです😊



お母さんの知代さんのおすすめの本は、『和菓子のアン』シリーズ。「和菓子を通しての、さまざまな人間模様が良いんです😊」

弟の望晴くんは、お兄ちゃんが大好きで、何でもまねをするお年ごろ。いつも本を読んでいるお兄ちゃんみたいに、絵本を自分で開いてみたり、お父さんの祐輔さんにも読んでもらったり。今は、『いないいない ばあ』(松谷みよ子文/瀬川康男 絵 童心社)が一番のお気に入りです。みんなの愛情をいっぱい受けて、すくすく成長中☆笑顔がはじける大矢さんご一家でした💖

【もくじ】

- 1p としょかん大好き家族
- 2p サテライト図書館募集
- 3p のはらうた講演会
- 4p 新刊ぴっくあっぷ

新しい「サテライト図書館」 引き受けてくれる方を募集します

村の図書館では村内全域のサービスをめざしていますが、移動(自動車)図書館、分館がないため、サテライト図書館を地域の皆様のご協力により開設しています。すでに開設中のサテライト図書館は、下記のとおりです。



施設名	図書館の愛称	蔵書冊数	R3度 貸出冊数	利用者層	蔵書の選書	主催者から メッセージ
陽阜郵便局	POST ミニ 図書館	200冊	241 冊	利用者・ 職員	図書館	局利用のついでにどうぞ。
みんなの家下條	小さな図書館	50冊	279 冊	介護保険サ ービス利用者・ 職員	みんなの家 下條	地域の方にも っと使っても らいたいです。
いきいきらんど 下條	いきいき文庫 かがやき文庫	300冊	37 冊	利用者	図書館	図書館に來ら れない方に。
子育て支援セン ターすくすく	つどいの広場	70冊	38冊	利用者・ 職員	つどいの広 場・図書館	どうぞ赤ちゃん にも絵本を。
本のお届けサービス (福祉員が本を持ち歩き貸出)		50冊	182冊	ミニふれあ いサロン利 用者ほか	福祉課 利用者 図書館	読みたい本が あればお届け します。

図書館では令和5年度より、さらにサテライト図書館を募集します。

対象は、人が集まる場所、待ち時間のある場所など…村内の診療所・病院・歯科医院・接骨院・美容院・理容院、お店、企業、個人のご自宅など、ご協力いただける方ならどなたでも。

主な活動としては、

- ①人が集まる場所に「本を載せたワゴン」(図書館で準備)を置いて、本と貸出簿の管理をしていただきます。
- ②月に1回、本の入れ替え(30～50冊)に図書館のボランティアさんか職員が伺います。



その時に貸出などの利用状況をお聞きします。
蔵書の本選び(選書)は、図書館職員が行いますが、もちろんリクエストなども反映させた蔵書にしてい

ていく予定です。
この機会に、お試して😊新しいサービス&一步を始めてみませんか？

みんなの家下條の「小さな図書館」のようす。利用が多く、ぎっしり入っていた50冊の本は、多くが貸出中となっていました。

サテライト図書館にご協力いただける
方は下記までお申し込みください。

下條村立図書館 Tel : 0260-27-3585

✉ sjbook@vill-shimojo.jp

のはらうたの会発足20周年 記念講演会を開催します

のはらうたの会のご紹介

のはらうたの会は、平成15(2003)年に当時の下條小学校・読書教育担当の先生の呼びかけで、5人の会員から活動が始まりました。現在ではPTA会員のほかに地域の方も加わり、30代から70代の13名で活動しています。「のはらうた」という名前は、詩人・工藤直子さんの詩集タイトルから付けた名前です。

主な活動は、

- ① 1か月に1度、小学校の授業開始前の15分間に各学級に入り、絵本の読み聞かせをする。
- ② 本番に備え、事前に研修(練習)会を開き、選んだ本をお互いに読み聞かせしあい、読むスピードや本の持ち方、ページのめくり方、季節に合っているかなどお互いにチェックしあいます。司書も同席して、時間を計ったり選書のアドバイス等をします。
- ③ 年度初めに、講師を呼び講演会を開き、子どもについて、絵本について勉強します。

令和5年度、のはらうたの会活動20周年を記念して、絵本画家・赤羽末吉の
研究家であり、三男の妻でもある赤羽茂乃(あかばしげの)さんによる講演会を行います。

のはらうたの会20周年記念講演会

赤羽茂乃講演会「赤羽末吉 スーホの草原にける虹」

日 時：2023年 5月28日(日) 午後1時30分

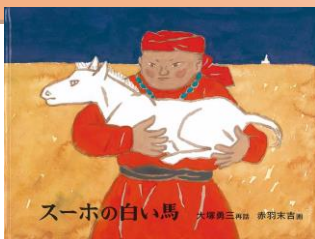
会 場：下條村立図書館 あしたむらんど下條 会議室
またはコスモホール 小ホール

対 象：どなたでも(託児が必要な方はお申し出ください)

定 員：50人

参加費：無 料

申込み：要事前予約(4月5日より、電話、カウンターにて受付)



問合せ先：令和5年度のはらうたの会
代 表 絹田 智花さん(長原)
副代表 生嶋 利子さん(入野)
講演会事務局(図書館) TEL0260-27-3585

赤羽末吉さん(日本
初・国際アンデルセン
賞受賞)の本コーナー

のお知らせ⇒絵本、挿
絵、エッセイ、画集な
ど、図書館には多くの
著作があります。赤羽
さんコーナーを設けて
ありますので、ご利用
ください。



『絵本画家赤羽末吉 スーホの草原にける虹』

戦前・戦中・戦後を生き抜いた絵本画家の生涯

赤羽茂乃 著

『スーホの白い馬』で知られる絵本画家・赤羽末吉。三男の妻として身近に接した著者が、その仕事を振り返りながら戦前・戦中・戦後を力強く生き抜いた画家の生涯を辿る。東京下町に育った子ども時代から青年期に渡った旧満州(中国東北部)での生活、戦後の引き揚げによる数々の試練、そして絵本画家となり子ども達のために描き続けたその軌跡を豊富な資料とともに紹介し、「絵本画家赤羽末吉」の原点に迫る。

紹介文：福音館書店HPより

赤羽茂乃さんの著作
は589pの大作です。